

ているが、今後の方針は。

答 同和对策関係予算のこの5年間の推移は、「基本方針」実施期間の初年度である13年度が約12億円、以降年次的に減額となり、最終年度の17年度では約1億8000万円と、初年度に比べ約15%となっている。

また、同和奨学金、高齢者手当など同和地区を対象要件とした事業については、17年度をもって廃止とし、今後は相談事業など必要とされる施策を一般対策として適宜・適切に実施していく。

◆関連質問

- ・2006年度以降の同和对策・人権行政 (市民連合)
- ・同和・同和教育行政について (日本共産党)

県史跡「二子塚古墳(緑風会)

問 県内の古墳時代後期のものとしては最大で、前方部と後円部の両方に横穴式石室があり、さらにデザイン的には日本で出土例のない双龍環頭柄頭（ふたつりゅうかんとうびょうづか）などが出土した。

これほど貴重な遺跡は調査期間を延長し、未調査になっている前方

部の発掘調査も行ってはどうか。

答 さらに、市道が古墳の上を通っており、崩落の危険があるとも聞いている。市道の位置を変えるなどして、一刻も早い保存対策が必要と考える。将来的には一帯を古墳公園として整備してはどうか。

答 史跡指定については、古墳の上を通る市道が大きな課題であり、前方部の石室調査とあわせて、関係機関および地元関係者と協議しながら対応していく。二子塚古墳は全国的に見ても貴重な古墳であり、国指定への取り組みを進め、保存活用を図っていく。



出土した双龍環頭柄頭

スポーツ振興策(新政クラブ)

問 本市のスポーツ振興計画策定に当たっては、神辺町との合併を踏まえた計画の策定が必要であ

ると思われる。

また、今後のスポーツ施設の充実策はどのようなものか。



たけがはな 竹ヶ端運動公園

答 スポーツ振興基本計画については、第四次総合計画に合わせ策定していく。スポーツ施設の充実については、アジア競技大会や国民体育大会を契機としてスポーツ拠点施設を整備してきた。今後は、合併地域の施設整備も含め、地域間のバランスにも配慮しながら整備に努めていく。

河川の水質浄化(緑風会)

問 芦田川水質浄化協議会で、瀬戸川の浄化策として水生植物の持つ自然の浄化作用を活用する方

針が決定された。そこで、国土交通省が整備する植生基盤上に、ヨシ苗等の植栽などを市民と行政が協働して取り組み、市民の川の浄化に対する関心を高めるきっかけとしてはどうか。

また、本施設は水生生物などの増加も見込め、芦田川環境マネジメントセンターや、川に学ぶ体験活動推進協議会と共同して、子どもたちの自然体験学習の場として活用してはどうか。

答 国は今年度末より一部で試験的に整備に着手されている。その際、植栽の実施や維持管理などを地域と協働して行うことが、市民の関心を高め河川浄化を一層進める方法と考える。

また、計画されている環境学習広場は、地域や専門家の意見も聞き整備されると聞いており、地域や関係団体と連携し、「自然体験学習の場」として活用されることで、芦田川の水環境のさらなる向上につながると考えている。

◆関連質問

- ・芦田川の水質浄化へ総合的・抜本的対策の再構築を (市民連合)

※双龍環頭柄頭：太刀の柄の先に施した飾りで、金銅製。2頭の龍が各々玉を口にくわえているデザインは、国内で初めて確認された。